

食いしん防災コミュニティ部会がいく！

(第62回 2023年7月)



あまり詳しく言うと正体がバレるので適当にぼやかすが、実は食いしん防は滋賀県出身ではない。関西の某県に生まれ、その後関東方面を転々としながら育ち、湖東に根を下ろした人間である。このままこの地に骨を埋める覚悟で、妻からの虐待を耐え忍ぶ毎日だ。

さて、様々な土地をめぐるってきた上での近江の印象はというと、「これまで知っている中でいちばん住みやすい土地」。お世辞ではなく本気でそう思ってる。道は混んでなくて走りやすいし、食べ物も美味しい。自然が豊かで、災害は少ない。

何よりも気に入ってるのは、「威張り屋が少ない」こと。食いしん防は威張り屋が大嫌いなのだ。

威張り屋の特徴は次の通り。

- ① 偉そうで威圧的な表情や態度。
- ② 喧嘩腰でしゃべる。
- ③ 自己中心的なクレマー体質。



どこにでも居るよね、こういうヒト。でも大阪や東京などの大都市はもちろん、他の地と較べても、近江はそういう人が圧倒的に少ないのである。

むろん威張り屋だって常に“威張って” いるわけではない。機嫌のよい時は実に穏やかだったりもする。ただ何かが原因でスイッチが入ると、一瞬で鬼の形相に変わるのだ。一般に身内（家族や仲間）には甘く、それ以外に対しては“こわもて” でいることが多いようだ。

正確に数えたわけではないが、都会のように人の数が多いところほど威張り屋率も高い。大勢の中では、威圧的な態度をとると主張が通りやすいと考えているせいか。実際、理屈の正しさよりも大きな声の意見が通りやすいのが、日本社会の悲しい現実である。

ただ普通に考えると、威圧的な人間はまわりから嫌われる。「触らぬ神に祟りなし」で面と向かって非難されないだけで、陰ではボロクソに言われてたりする。それでも本人は、自分が一目置かれてるような気になって満足なのだろう。

繰り返すが、近江の地は本当に穏やかな人が多い。まれに威張り屋が存在するが、まわり中から嫌われていることに気づかない鈍感な人のようだ。ちなみに食いしん防は、身近にいる威張り屋に“面従腹背”で対応している。妻に対してではないと、念を押しておく。



TOPICS

☆こと防全体会が開催される

湖東地区防災ネットワーク（こと防）の全体会議が、湖東コミセンで行われ、31の自治会から、代理を含む防災推進員が集まった。また、民児協・湖東赤十字奉仕団・市消防団・市防災危機管理課からの来賓も参加した。

まず前半は、市福祉政策課の中村準一氏による講演で、「福祉避難所とは何か？ どのような人が利用できるのか？」についての知識を得た。

福祉避難所を利用できる人をざっくり言うと、**医療ケアを必要とする在宅者**。これまでは、そういう方もいったん一般の指定避難所へ行き、そこで巡回医師の診察を受けて必要が認められれば福祉避難所に移れるという仕組みだった。それが今では、**あらかじめ登録しておけば、直接福祉避難所へ行くこともできる**ように変わった。（状況によっては受け入れられない場合もあり）

時間の都合で、事前に必要とされる手続きの内容にまでは触れられなかったが、そこは今後の研修課題となっていこう。

後半は、ブロックごとの打ち合わせ。令和5年度の各ブロック代表は、以下の方が選出された。

第一小ブロック……澤村 博 さん（中里町）

第二小ブロック……村田 道広 さん（北菩提寺町）

第三小ブロック……本田 貴也 さん（下岸本町）

支所ブロック……泉 和宏 さん（槌之宮）

ひばり幼稚園ブロック…田中 雅 さん（小八木町）

そして全体代表は、**満票で村田道広さんが選ばれた**。食いしん防は全体の熱気に押され、うっかり記録写真を撮るのを忘れてしまった。許してたもれ。

☆「防災・減災のつどい」に参加

市が主催する「防災・減災のつどい」が能登川コミセンで開かれ、食いしん防もこっそり潜入……じゃなくて堂々と参加してきた。

まずは、能登川まち協の辻英幸氏による事例発表「見直そう、我が家の防災計画」。平成30年豪雨で避難指示が出た時に混乱が起きた反省から、防災計画の見直しを行ったことの自慢話……じゃなくて真面目な報告。

続いて、兵庫県立大学教授の阪本真由美氏による「防災からつなげるまちづくり」と題した講演。氏の話は前にも聞いたことがあるのだが、**豊富な知識・体験と長年の研究に基づいた内容は、眠気も吹き飛ばす濃密さ**。「地区防災計画」というキーワードが初めて出てきて、これについてもっと聴きたかったのだが、時間がなくなり残念。



この講演は YouTube でも配信されているそうなので、興味のある人は検索してみてください。

今後の活動予定

えーと、しばらく予定なし。秋には北花沢町の防災運動会や、ふるさとまつりにおける啓発活動が予定されています。

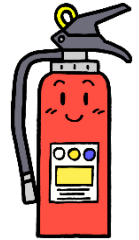
※ 出前講座の申し込み受け付けます！



勝手にQ&Aコーナー

Q：自治会内の消火器の交換を計画しているのですが、使用期限切れの消火器はどのようにして処分すればいいのですか？

A：おおっと、これは小池町のIさんからの質問。防災設備の取り扱い業者に依頼すれば、処分してもらえます。ただし1本あたり1,000円ほどの処分料がかかる。近くだと、小田町町のニシザワ防災さんですね。



Q：突然「威張り屋」の話が出てきましたが、誰のことを念頭に置いているのですか？
やっぱり奥さまですか？

A：やっぱりとは何だ、やっぱりとは。食いしん防を殺す気か!? 声を大にして言いたいが、食いしん防の奥さまは「威張り屋」じゃありませんよ。ただの「怖い奥さま」です。どのくらい怖いかというと……あわわ、何を言わせるんですか!?

楽しい質問、お待ちしております！



(文責：こじまっちょ)